

産業・流通ビジネスユニット

製造から流通に至るまでのビジネス領域は、グローバル競争の激化で大きな環境変化に直面しています。日立の産業・流通ビジネスユニット（以下、BU）は、さまざまなプロセスで情報を共有し、価値を生み出すバリューチェーン・イノベーション創出に向け、デジタル技術を活用したIT×OTで現場から経営までをワンストップで支援。お客さまの課題解決と付加価値向上を実現していきます。



執行役常務
産業・流通ビジネスユニット CEO
宇川 祐行

■プラントエンジニアリングから制御、ITまでをトータルに提供

産業・流通BUでは、設計・施工・保守サービスまで一貫した「プラントエンジニアリング」、自動車・医薬系に代表される製造実行システムや運営・管理システムなどの「制御ソリューション」、経営に直結するロジスティクスやERPなどの「経営支援ソリューション」と幅広い事業を展開しています。そこには製造設備と制御、経営に資するITを一体化したソリューションを、従来お客さまに提供してきた日立ならではの強みがあります。

現在の市場環境はeコマースの台頭で、消費者の趣味・嗜好に合った商品やサービスを、いかにタイムリーかつ低コストに提供できるかが重要な課題となっています。そこで産業・流通BUでは、プラントエンジニアリングから、制御、ITまでをトータルに提供し、お客さまとともに新たな価値を創造する産業・流通分野の協創パートナーとして事業を展開していきます。

■多様なデジタルサービスでバリューチェーンを最適化

具体的には、人工知能やアナリティクスなどの最新技術を生かしたIoTプラットフォーム「Lumada」でバリューチェーン全

体の情報を共有・可視化し、設計・調達から製造・流通、販売・物流・保守までをトータルに最適化していきます。オープンなIoTプラットフォームであるLumadaは、SAP® S/4HANAなどの他社製ツールとも容易に連携できるほか、企業の業務データ、経営データも社外に持ち出さずセキュアに分析できるなど、お客さまに適した環境を実現できるのが特長です。

また、産業・流通BUは自動車・医薬系などの成長分野市場で、かつわれわれの強みが生かせる分野に今後も注力していきます。例えば自動車業界では、完成車メーカーや国内外のグループ企業に対して同一の設計クラウド環境を提供し、グループ全体の設計作業を高位平準化し、開発期間の短縮に成功しました。

医薬業界ではプラントノウハウを核に、多様なデータ解析や経営指標の可視化を行うことにより設備効率の最大化や製造プロセスの最適化を実現し、バイオ医薬品の安定供給や新薬開発のスピードアップに貢献しています。今後は食品・飲料

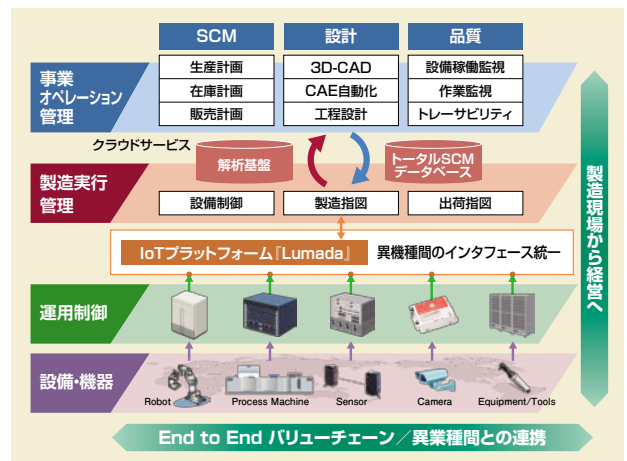
業界などにも、こうした協創を積極的に提案していきます。

■物流でも異業種をつなぐ新たな価値を創出

交通渋滞や燃料コストなどが課題となっているロジスティクス分野でも新たな取り組みを進めています。日立が開発した事業価値シミュレータ「Cyber-PoC」*を活用することで、異業種も含めた複数拠点の巡回共同配送、交通流も踏まえた最短時間・最小コストでの配送が算出でき、投資効果や改善策の検討を実際の実証実験に近い形で行うことが可能となります。

こうした一連の取り組みをととして産業・流通BUは、お客さまとともにバリューチェーンに新たな価値を創造していきます。

* Cyber-Proof of Concept



[Lumada]を活用したデジタルサービス型事業の階層モデル

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 産業・流通ビジネスユニット
産業ソリューション関連紹介サイト
http://www.hitachi.co.jp/products/infrastructure/product_solution/industry/

製造業・流通業・サービス関連紹介サイト
<http://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/>